

編集・発行
 奄美自然体験活動推進協議会
 通巻60号

奄美野生生物保護センター
 ニュースレター

奄美の風だより

センター & 協議会 News

写真展「越冬地のサシバ」

お話し「もうきんの観察方法～サシバと友達になろう！～」

とき：(写真展) 2019年11月2日～10日

(お話し) 2019年11月3日

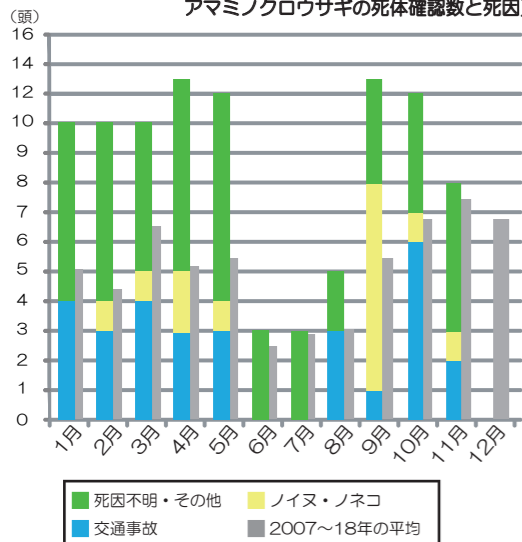
越冬地のサシバを長年撮り続けている写真家の与名正三さんがこれまで奄美大島で撮られた写真や国際学会で発表された調査の結果を、奄美野生生物保護センターの映像室にて展示し、お話しいただきました。また、獣医師さんにもご協力いただき傷病治療中のハヤブサを間近でみることができ、猛禽類の特徴をより理解できたと思います。



センターからのお知らせ

アマミノクロウサギ死体確認数

(奄美大島及び徳之島における2019年11月時点のアマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

奄美に住む動物たちのために、あなたができること

安全運転

残念なことに、今年も多く動物たちが交通事故で命を落としています。動物たちを守るためにも特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べしてしまうこともあります。

捨てない

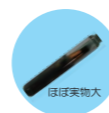
最後まで責任をもって飼いましょう。

避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないこと、ペットの健康を守ることになります。

マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

外来種対策

奄美の生態系を守るため、外来種駆除と監視にご協力をお願いします。

今の時期に見られる動植物



クロガネモチ

本州～琉球に分布。山地の林内に生える雌雄別株の常緑高木。街路樹や庭木としてよく植栽されている。



ウラジロカンコノキ

奄美大島以南の琉球列島に分布。果実は扁球形で熟すと褐色。ハナホソガというガの仲間が共生していることが近年の研究で分かっている。



アカツクシガモ

日本では稀な冬鳥として主に西日本で記録が多く、奄美でもごく稀に観察される。写真は今年保護センター前にある草地で撮ったもの。




チブサトゲグモ

奄美群島では簡単にみることができるクモ。アダン林や人家周辺に多い。模様は個体変異がある。




今季の一枚 「ツمامラサキマダラ」

ヤマヒヨドリマバナが咲くと、ツمامラサキマダラという、羽の先端が青紫色をした美しいチョウがこの花に訪れます。ツمامラサキマダラは、東南アジアに広く分布し、奄美群島には2000年頃、自然に飛来し定着しました。一時期はたくさんみることができましたが、2011年以降、急に減少し、ほとんど姿を見ることができなくなったそうです。しかし、最近また、たくさんの姿を見ることができるようになりました。なぜ、激減したか分かりませんが、この美しいチョウをまたたくさん見られるのは、嬉しいことです。みなさんも探して観察してみてください。



奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は 宇検村 です




峰田山公園

宇検村は奄美大島の中南西部西岸に位置し、深い入り江の焼内湾に14の集落が形成され、奄美群島最高峰の湯湾岳694mなど大自然に囲まれた村です。

【アカヒゲ】 宇検村の鳥

全長14cm前後、オスは上面全体濃いオレンジ色、喉から胸にかけて黒く、腹面は白色の美しい鳥。絶滅危惧Ⅱ類（VU）（環）、国内希少野生動物種。



自然環境への環境教育の取り組みの紹介「メヒルギの植栽活動とリュウキュウアユ学習会」

【メヒルギの植栽活動】

宇検村では奄美大島生物多様性地域戦略に伴い、宇検村の重点施策であるマングローブ林の再生を目的として、平成26年度から村内小学児童たちを対象にした「環境教育」の中でメヒルギの植栽活動を行っています。

植栽場所は過去マングローブ林が自生していた場所であり、現在村調整池となっており同場所では3回目の植栽となります。メヒルギの苗は、同児童たちが同校で7月から4か月程育てたもので、今回約60本を植栽しました。



【リュウキュウアユ学習会】

奄美市（住用支所）・宇検村・龍郷町の3市町村で構成された奄美大島自然保護協議会ヤジ分会出前講座として、村内小中学校生徒・保護者を対象に絶滅危惧種ⅠA類及び県指定希少野生動物に指定されているリュウキュウアユの学習会を開催しました。

同協議会で飼育している養殖リュウキュウアユを用いて、アユの触れ合い体験も実施しました。

（宇検村 産業振興課）



いきもののふしぎ～どんぐりのお話～

今年のどんぐりは、全国的に凶作の年になってしまったようです。奄美群島も凶作だと思いますが、みなさまの島ではどうでしょうか。奄美群島に生育するどんぐりについて学んでみましょう。



どんぐりのなる木は何種類あるのでしょうか？

奄美群島に生育するどんぐりのなる木の種類は、スダジイ、アマミアラカシ、オキナワウラジロガシ、ウラジロガシ、マテバシイの全部で5種類です。



スダジイの花

【スダジイ】 別名：イタジイ
屋久島以南のものを変種のオキナワジイとして扱われることもあります。実の形は球形から卵形などさまざまです。特に奄美大島では、スダジイがたくさん生えているため、昔は大事な食糧でした。シイの実ご飯やお菓子、焼酎、醤油、味噌などさまざまな食べ物に利用されていました。



【アマミアラカシ】

葉の先のほうに鋸歯があります。オキナワウラジロガシと葉が似ていますが、葉の裏は白くありません。ウラジロガシの実と似ていますがアマミアラカシのほうがいくぶん細いです。薪炭材として昔は利用されていたそうで、上質な炭が作れるそうです。



【オキナワウラジロガシ】

ウラジロガシと葉は似ていますが、オキナワウラジロガシは板根が発達しているのが判別するポイントになります。また、幹には白っぽい点々が目立ちます。日本で一番大きなどんぐりになります。徳之島の森でよく見られます。



【ウラジロガシ】

葉の裏が白くオキナワウラジロガシと似ていますが板根はありません。カシ類のどんぐりは、渋みがあるためあく抜きしないと食べられません。

【マテバシイ】

生育している場所はかなり限られていて数が少ないです。食べられるどんぐりです。



どんぐりは野生動物たちの大事な食糧です。今年は凶作なので、普段食べない実なども食べていますし、イノシシの農業被害も大きいです。動物たちの繁殖にも大きな影響を与えます。



どんぐりがなるまで

花が咲いてその年にどんぐりがなる1年成と翌年になる2年成があります。1年成でなるものはアマミアラカシ、それ以外は2年成でなります。

参考文献 琉球孤野山の花（南方新社 写真と文：片野田逸朗）琉球孤・植物図鑑（南方新社 著：片野田逸朗）琉球の樹木 奄美・沖縄諸島～八重山の亜熱帯植物図鑑（文一総合出版 著者：大川智史、林将之）ほくのどんぐり図鑑（岩崎書店 絵・文：盛口満）奄美群島植物方言集（奄美文化財団 著：大野隼夫）植物地理の自然史（北海道大学出版会 編著：植田邦彦）